



今年は400本の満開のソメイヨシノと祭りを両方楽しめる♪

善福寺川『すぎなみ春らんまん祭』を開催！

4月4日（金）都立善福寺川緑地の杉二小東側広場（杉並区成田西3丁目1番）で、毎年好評のさくらまつり改め『すぎなみ春らんまん祭』が開催され、多くの人出でにぎわいました。杉並区商店会連合会主催の、地元愛に溢れるこの祭りは、6日（日）まで開催しています。

この祭りは、平成19年から地域の商店会などを中心に開催してきたもので、毎年4月の第1週目の週末に実施されています。東日本大震災以降は、被災地支援を兼ねて、被災地からのブースを設けています。

昨年まで「さくらまつり」として親しまれてきましたが、今回から「すぎなみ春らんまん祭」と新しい名称に生まれ変わりました。善福寺川沿いに覆いかぶさるように樹齢30年～40年のソメイヨシノが約1.5kmの間に約400本植えられ、春は見事な桜の回廊が有名です。その「さくら」を冠して祭りを開催してきましたが、4月の1週目と決めた祭りの日に桜が咲くとは限りません。また、「さくらまつり」なのに桜の花がなければ、祭りも盛り上がりません。そこで、役員が知恵を出し合い、桜の開花を気にせず祭りに取り組めるよう「すぎなみ春らんまん祭」と改名することとなりました。



しかし、今年は、桜の開花が祭の時期と重なり、桜の木の下にレジャーシートを敷き、ブースで買ったご飯やビールを飲みつつ談笑する姿や、犬を連れて川沿いを散歩する人々、桜の花びらをつかもうとする子供等、多くの人出でにぎわう嬉しい誤算となりました。

また、今回は28の商店会のブースに加え、チアリーディングや大道芸など催しが目白押しで、土曜日と日曜日で6組ずつがイベントを行います。

今年は桜もお祭りも両方楽しめる恵まれた年なので、ぜひ多くの方々に楽しんでほしいと、スタッフが笑顔で祭りを盛り上げていました。

【問い合わせ先】

杉並区商店会連合会 TEL：3220-1221